

根分岐部病変に非外科的治療で対応するための知識とスキルを網羅！



ステップアップ 歯科衛生士
根分岐部病変に挑戦！
プラクコントロールとデブライドメント

佐藤昌美 著

A4判変/130頁 定価：本体4,300円+税
医歯薬出版（2015年11月）

日本歯科大学 生命歯学部 歯周病学講座
評・沼部幸博



皆さんは根分岐部に生じる歯周病、「根分岐部病変」に対してどのようなイメージをもたれていますか？ 私はこれを歯周組織検査で見つけると、「こいつは厄介だぞ！」と感じます。

さて、今回ご紹介する書籍。書店であれば「これは根分岐部病変という強敵に挑んだ勇敢なる歯科衛生士の物語である……」などのポップをつけたくるような、秀逸なる根分岐部病変、いや、歯周治療の指南書です。

どこか昭和の香り漂う配色をバックにした表紙では、この本のガイド役であるネコ“ハイジニャン”のイラストが目を引きます。そのほかにも、“Dr. ニャン”“患者さん”“DH さとちゃん”などのキャラクターが惜しみなく紙面に登場し、各章にインパクトと華やかさを与えています。

章の構成は大きく分けて4つ。「Ⅰ. 根分岐部病変の非外科的治療の考え方と診査の部」では、根分岐部病変治療の序論として、基本的概

念、検査法などが解説され、「Ⅱ. 挑戦に必要な知識の部」では、根分岐部の解剖学的知識の解説と根分岐部の治療にあたっての参考図書の紹介がなされます。そしていよいよ佳境の「Ⅲ. 挑戦に必要なスキルの部」では、モチベーションから始まり、プラクコントロールとスケーリング・ルートプレーニング(以下SRP)の基本、根分岐部に対するSRPのポイントやシャープニング法までを解説しています。「Ⅳ. 根分岐部病変の非外科的治療の部」では、本書の総まとめとして、6つのケースプレゼンテーションが提示され、これらのすべてが、非外科的治療によって長期にわたり良好な経過を得ていることに驚かされます。また、前の3つの章の内容すべてがこの章で有機的につながり、昇華されていることを感じます。そして本書を読まれる方々は、この実現には、すべての章で各所に登場する「プラクコントロール」と「デブライドメント」という2つの大切なキーワードが必須であることにも気づくでしょう。これが著者の本当に伝えたいことなのです。

紙面構成に目を移すと、フルカラーのページには多くの美しい症例写真とX線写真、的確な図表、わかりやすい解説文が配置され、本文で解説しきれなかった内容が「COLUMN」として随所に挿入されており、各章の内容に厚みを与えています。また、もっと知りたい方のために、必読の参考文献が各章の後に明示されているのもこの本の特徴の1つです。これは著者の佐藤昌美さん、いや“さとちゃん”の「技能だけでなく知識に裏づけられた臨床」への姿勢を強く感じさせるものです。

ハイジニャンが案内してくれる根分岐部病変の治療本である本書は、愛称「ネコの根分岐部本」として、多くの歯科衛生士の方々の臨床現場でそばに置いていただきたい、イチオシの“一匹”，いや“一冊”です。